

問1 北海道の中央南部に位置し、石狩低地帯の東側から南の襟裳岬方面へと南北に連なる険しい山脈の名称として、最も適切なものを選びなさい。

(2024年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 日高山脈 | 2. 赤石山脈 | 3. 飛騨山脈 | 4. 奥羽山脈 |
|---------|---------|---------|---------|

問2 北海道の自然環境と産業に関連して、網走市や知床半島の沿岸で見られる冬季の自然現象と、その海域の特徴について説明した文として最も適切なものを次の中から選びなさい。

(2025年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. オホーツク海に面しており、冬に押し寄せる流氷がプランクトンを運ぶため、豊かな漁場が形成される。 | 2. 日本海に面しており、暖流の影響で冬も海水温が高いため、流氷が接岸することはない。 | 3. オホーツク海に面しており、夏になると南東からの湿った季節風によって流氷が再び発生する。 | 4. 太平洋に面しており、親潮（千島海流）の影響で一年中流氷が漂い、大規模な稲作が行われている。 |
|--|---|--|--|

問3 日本最大の面積を持つ地域における産業構造の特徴について、統計資料から読み取れる傾向として適切な説明はどれか、次の中から選びなさい。

(2022年 愛知県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 広大な土地を利用した大規模な水稲栽培などの農業が盛んである一方、第3次産業の就業者割合は約6割強にとどまっている。 | 2. 大規模な土地利用による農業は衰退しており、現在は製造業と観光業のみが地域の主要な産業となっている。 | 3. 製造品出荷額等が約25兆円と極めて高く、第2次産業の就業者割合が第3次産業を大きく上回っている。 | 4. 日本最大の面積を持つが、寒冷な気候のため水稲栽培は行われず、サービス業などの第3次産業が就業者の大半を占める。 |
|--|--|---|--|

問4 北海道において、宿泊施設の延べ宿泊者数や温泉地数が全国的に見て極めて多い水準にある理由と、その観光業の特色について述べた説明として、最も適切なものはどれですか。

(2023年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 首都圏からの距離が近いこと、日帰りの観光客を主なターゲットとした小規模な宿泊施設が特定の都市に集中し、効率的な運営が行われているため。 | 2. 冬季の積雪が厳しいこと、観光の主力は夏場の避暑や農業体験に限定されており、季節による宿泊者数の変動が極めて大きい構造となっているため。 | 3. 歴史的な寺社仏閣が全国で最も多く、それらの伝統的建造物を宿泊施設として再利用する取り組みが全道で進んでいるため。 | 4. 火山帯に位置する地理的条件を活かした温泉地が各地にあり、広大な自然景観やパウダースノーなどの地域資源を求めて国内外から多くの観光客が訪れるため。 |
|--|--|---|---|

問5 2012年から2016年にかけての、北海道における外国人宿泊者数の推移と傾向について述べた文として、統計的事実に基づいた正しいものはどれですか。

(2018年 山形県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 北海道を訪れる外国人宿泊者数は、2012年と比較して2016年には夏季・冬季ともに減少し、日本人観光客中心の構成へと変化した。 | 2. 2012年から2016年にかけて、外国人宿泊者数は夏季・冬季ともに大幅に増加しており、特に冬季の宿泊者数が夏季を上回る傾向が顕著になっている。 | 3. 2012年から2016年にかけて、夏季の外国人宿泊者数は順調に増加しているが、冬季については横ばい、または微減の傾向にある。 | 4. 外国人宿泊者数は通年で増加傾向にあるが、2016年時点の統計においても、依然として夏季の宿泊者数が冬季を大きく上回っている。 |
|--|--|---|---|

問6 1977年から2017年にかけての北海道における稲作の動向について、作付面積と総収穫量はともに減少していますが、1ヘクタールあたりの収穫量は増加傾向にあります。このように、一定の土地面積から得られる収穫量が増える背景として、最も適切な説明はどれですか。

(2019年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------------------------|--|---|---|
| 1. 化学肥料の使用を一切やめ、伝統的な手作業による農法に回帰したため。 | 2. 政府の減反政策により、小規模な農家がすべて廃業して大規模農場に集約されたため。 | 3. 生産技術の向上や寒さに強い品種改良が進み、土地あたりの生産性が高まったため。 | 4. 地球温暖化の影響のみによって、北海道全域が稲作に最適な亜熱帯気候に変化したため。 |
|--------------------------------------|--|---|---|

問7 北海道の農業は、農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広いことが特徴です。このような土地条件のもとで行われている農業のあり方について説明した文として、最も適切なものはどれですか。

(2017年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 土地の生産性を高めるために、多くの労働力を投入する労働集約的な稲作が広く行われている。 | 2. 広大な農地を効率的に管理するため、大型機械を活用した大規模な機械化農業が展開されている。 | 3. 限られた土地から高い収益を得るため、ビニールハウスなどを活用した施設園芸農業が中心となっている。 | 4. 寒冷な気候による被害を防ぐため、耕地面積を小さく抑え、小規模で多品目な栽培を行っている。 |
|--|---|---|---|

問8 北海道の中西部を流れる石狩川の下流域には、かつて大規模な泥炭地（湿地帯）が広がっていましたが、土地改良が進んだことで現在は日本有数の稲作地帯となっています。石狩川の河口が面している海域と、その流域に広がる平野の組み合わせとして正しいものはどれですか。

(2019年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. オホーツク海と北見盆地 | 2. 日本海と石狩平野 | 3. 太平洋と根釧台地 | 4. 太平洋と十勝平野 |
|----------------|-------------|-------------|-------------|

問9 北海道の倶知安町や二セコ町における外国人宿泊客数の統計では、12月から3月にかけての冬季の客数が突出して多く、他の月との格差が非常に大きいという特徴が見られます。このような宿泊客の動向が生まれている地理的な背景として、最も適切な説明はどれですか。

(2025年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--------------------------------------|--|--|
| 1. 夏休みの期間を利用した大規模な農業体験が外国人家族連れに普及しているため | 2. 梅雨のない気候を求めて、アジア圏から多くの避暑客が長期滞在するため | 3. 流氷を観察するための砕氷船観光が、外国人観光客の最大の目的となっているため | 4. 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため |
|---|--------------------------------------|--|--|

問10 北海道の日本海沿岸に位置する稚内付近では、5月から6月にかけて月別平均日照時間がピークを迎えます。このような自然環境に関する説明として、誤っているものはどれですか。

(2021年 兵庫県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 日本海を北上する対馬海流は暖流であり、この地域の気候に影響を与えている。 | 2. この地域が日本の他地域に比べて高緯度にあることは、夏季の昼の時間が長くなる要因となっている。 | 3. 5月から6月にかけて日照時間が長くなるのは、梅雨前線の影響を本州ほど受けにくいことも背景にある。 | 4. 夏季の日照時間が長いのは、寒流である千島海流が宗谷海峡を通過して日本海へ流れ込み、雲の発生を抑えるからである。 |
|---|---|---|--|

問11 北海道の北東部に位置し、冬になるとシベリア沿岸から流れてきた「流氷」が網走や紋別、知床半島の沿岸に押し寄せることで知られる海域の名称を選びなさい。

(2025年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|-----------|--------|--------|---------|
| 1. オホーツク海 | 2. 日本海 | 3. 太平洋 | 4. 東シナ海 |
|-----------|--------|--------|---------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 日高山脈	北海道の南部に位置するこの山脈は、その険しさから地域の交通や気候を分ける地理的境界線として機能しています。選択肢にある飛騨山脈や赤石山脈は中部地方（日本アルプス）に位置し、奥羽山脈は東北地方の中央を南北に走る山脈であるため、北海道の地形としては日高山脈が正解となります。
問2	答え 1 オホーツク海に面しており、冬に押し寄せる流氷がプランクトンを運ぶため、豊かな漁場が形成される。	オホーツク海では、1月から3月にかけて流氷が接岸します。流氷には植物プランクトンが大量に含まれており、春に氷が溶け出すとそれらが一気に増殖するため、魚介類が豊富な好漁場となります。この特異な環境は、知床半島の自然保護や、網走・紋別などの地域の観光資源としても極めて重要です。
問3	答え 1 広大な土地を利用した大規模な水稲栽培などの農業が盛んである一方、第3次産業の就業者割合は約6割強にとどまっている。	この地域は、5.1万ヘクタールという広大な水稲作付面積に象徴されるように、第1次産業が強い基盤を持っています。産業全体ではサービス業などの第3次産業が就業者の63.8/パーセントを占めて中心となっていますが、他都府県と比較すると相対的に第1次産業の存在感が大きく、独自の産業構造を形成しています。
問4	答え 4 火山帯に位置する地理的条件を活かした温泉地が各地にあり、広大な自然景観やパウダースノーなどの地域資源を求めて国内外から多くの観光客が訪れるため。	北海道には活発な火山活動に由来する温泉地が数多く存在します。これに加えて、国立公園に指定されるような広大な自然環境や、冬の質の高い雪といった独自の資源が観光の目玉となっています。これらが大規模な宿泊施設の整備と結びつき、高い延べ宿泊者数を維持する要因となっています。
問5	答え 2 2012年から2016年にかけて、外国人宿泊者数は夏季・冬季ともに大幅に増加しており、特に冬季の宿泊者数が夏季を上回る傾向が顕著になっている。	2012年から2016年の統計を確認すると、北海道を訪れる外国人宿泊者数は通年で大きく伸びています。特に冬季（12月～3月）の伸びが著しく、2012年の約117.2万人から2016年には約300.9万人へと急増しました。この結果、冬季の宿泊者数が夏季（6月～9月）の宿泊者数を上回るという、北海道観光の新しい特徴が示されています。
問6	答え 3 生産技術の向上や寒さに強い品種改良が進み、土地あたりの生産性が高まったため。	北海道の稲作は、かつては寒冷地ゆえの不作に悩まされてきましたが、農業機械の導入などの生産技術の進歩や、「ゆめぴりか」や「ななつぼし」といった耐冷性に優れた品種改良の努力により、単位面積あたりの収穫量（土地生産性）を向上させてきました。米の消費量減少に伴う減反政策などで作付面積や総収穫量自体は減っていますが、技術革新によって効率的な生産が可能になっています。
問7	答え 2 広大な農地を効率的に管理するため、大型機械を活用した大規模な機械化農業が展開されている。	北海道の農業は、一人あたりの耕地面積が広いことから、人力による作業ではなく機械の力を借りる必要があります。そのため、大型トラクターなどの導入が進んでおり、他地域に見られる労働集約的な農業や施設園芸農業とは異なり、広大な土地を少人数で管理する大規模な機械化農業が確立されています。
問8	答え 2 日本海と石狩平野	石狩川は、大雪山系に源を発し、北海道中央部を北西へと流れ、日本海に注ぐ一級河川です。その下流域には石狩平野が広がっています。かつては水はけの悪い泥炭地が広がり、農作物の栽培には不向きな土地でしたが、大規模な排水事業や客土（他の場所から良質な土を運ぶこと）などの土地改良が行われた結果、現在では道内最大の稲作地帯となっています。
問9	答え 4 世界屈指の雪質を求めて海外から多くのスキー・スノーボード客が訪れるため	ニセコ周辺は「パウダースノー」と呼ばれる質の高い雪が海外で高く評価されており、オーストラリアを中心とした海外からの観光客が冬のレジャーを目的に集中的に訪れます。統計データにおいて冬季の宿泊客が突出しているのは、この季節的なアクティビティが観光需要の核心となっているためです。
問10	答え 4 夏季の日照時間が長いのは、寒流である千島海流が宗谷海峡を通過して日本海へ流れ込み、雲の発生を抑えるからである。	北海道の日本海沿岸の気候に影響を与える主要な海流は、暖流の対馬海流です。寒流の千島海流（親潮）は、主に北海道の東部や太平洋沿岸を南下する海流であり、夏季に冷たく湿った空気がこの海流上で冷やされると濃霧が発生し、逆に日照時間を短くさせる原因となります。稚内付近の日照時間が長い理由は、高緯度による昼の時間の長さや、梅雨の影響が小さいといった要因によるものです。
問11	答え 1 オホーツク海	北海道の北東側に位置するこの海域は、シベリアのアムール川から流れ込む淡水の影響で塩分濃度が低くなり、冬の厳しい寒さによって海水が凍り、流氷が形成されます。網走や紋別では観光船による流氷見学が盛んであり、知床半島は流氷がもたらす栄養分によって豊かな生態系が保たれていることから世界自然遺産に登録されています。